



平成21年度開通予定の圏央道の  
インターチェンジ名称が決定しました。

— 「桶川北本インターチェンジ」に決定 —

記者発表資料

国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所とNEXCO東日本 関東支社さいたま工事事務所が共同で事業を進めている圏央道において、平成21年度開通予定のインターチェンジの名称が決定しました。

○開通予定区間のインターチェンジ名称

今後の名称	これまでの仮称
おけがわきたもと 桶川北本インターチェンジ	桶川ジャンクション

○平成21年度の開通予定

- ・「川島IC」から今回IC名称が決定した「桶川北本IC」までの5.7km区間は、平成21年度の開通を予定しています。

○期待される効果

<東西方向のアクセスが向上>

- ・圏央道20分利用圏人口 : 桶川市、北本市を中心に約16万人増加
- ・圏央道桶川北本ICから中央道八王子JCTまでの移動時間 : 約40分
- ・桶川市から入間市までの移動時間 : 約45分短縮

<企業立地の活性化>

- ・圏央道周辺に新たな企業が進出し、経済波及効果や地元雇用の増加が期待。

平成21年7月13日

国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所  
東日本高速道路株式会社 関東支社 さいたま工事事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 埼玉県政記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所 副所長 かんの菅野、計画課長 ごかん後閑 tel : 048-669-1200(代)  
東日本高速道路(株)関東支社 さいたま工事事務所 副所長 いけだ池田、工務課長 いちかわ市川 tel : 048-749-9620(代)

## ■開通予定区間のインターチェンジ名称

「桶川北本 I C」は、平成 21 年度開通予定区間（川島 I C～桶川市までの 5.7 km 区間）にできるインターチェンジです。

今後の名称	これまでの仮称
おけがわきたもと 桶川北本インターチェンジ	桶川ジャンクション

### 位置図



桶川北本 I C 周辺の状況



平成 21 年 3 月撮影

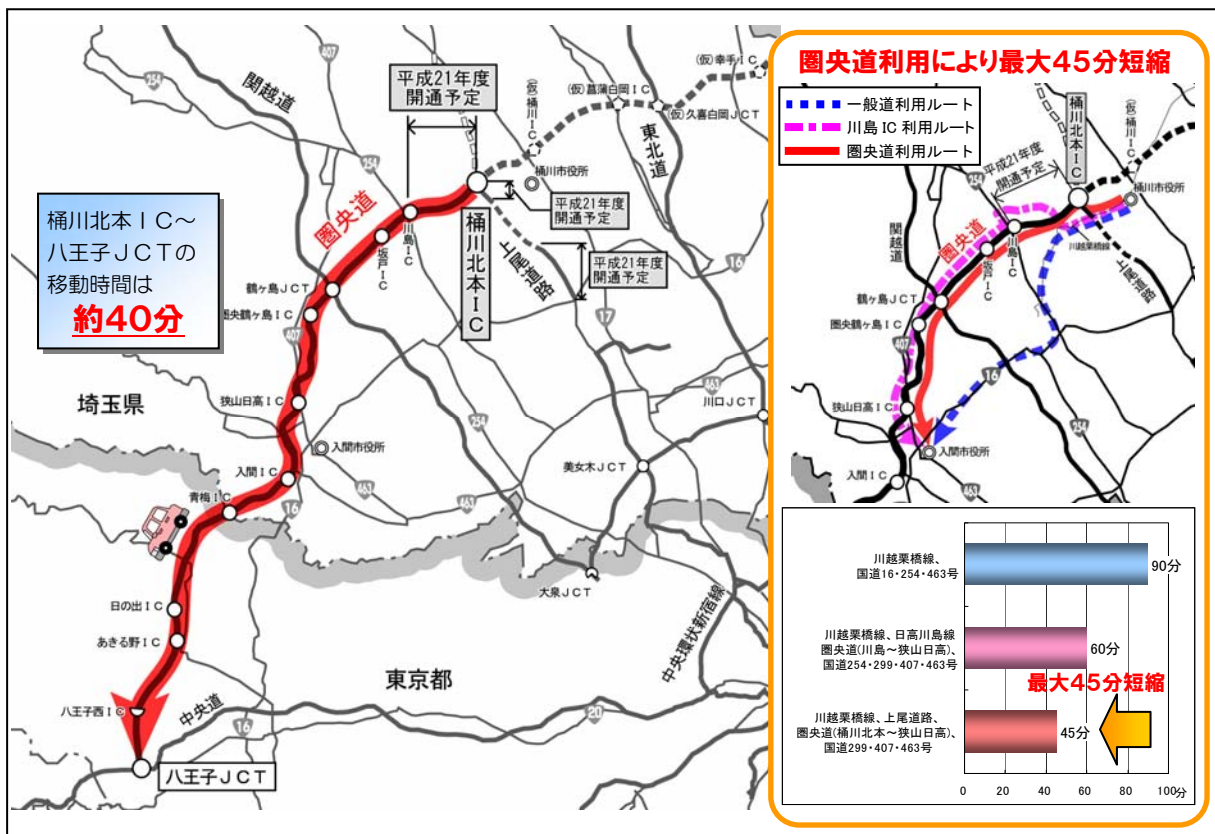
川島 I C 周辺の状況



平成 21 年 3 月撮影

## ■ 川島 IC～桶川北本 IC の開通により東西方向のアクセスが向上

- ・ 圏央道 20 分利用圏人口が、桶川市・北本市を中心に約 16 万人増加します。これにより、将来の 20 分利用圏人口約 56 万人のうち約 3 割をカバーできます。
- ・ 桶川北本 IC から中央道八王子 JCT までの移動時間は 約 40 分。
- ・ 桶川市から入間市までの移動時間が一般道利用と比べ、最大 45 分短縮。(一般道利用約 90 分→圏央道利用約 45 分)



※利用圏人口は平成 21 年 4 月の各自治体の住民基本台帳から算出

※移動時間は H17 道路交通センサスより算出。

圏央道及び上尾道路は設計速度より算出。(桶川北本 IC～川島 IC 間 100km/h、川島 IC～鶴ヶ島 JCT 間及びあきる野 IC～八王子 JCT 間 80km/h、上尾道路 60km/h)

## ■ 埼玉県内の圏央道整備により新たな企業の立地が活発化します。

- ・ 埼玉県内の圏央道が全線開通後、計画的な産業基盤づくり※<sup>1</sup>による経済波及効果として、初期投資により約1,200億円※<sup>2</sup>、工場の操業により年間約6,000億円※<sup>3</sup>が見込まれます。
- ・ 平成20年3月の川島IC開通により、一年後には川島インター産業団地の全区画47haに18社の企業進出が決定。  
桶川北本ICの開通により、開発中の産業団地への企業誘致にも期待がもたれています。

※1：田園都市産業ゾーン基本方針（埼玉県）に基づく産業基盤づくりの目標量180ha（開発の全体面積）を対象

※2：産業団地の造成や工場の建築などによる効果（埼玉県試算）

※3：すべての工場等が操業することによる効果（埼玉県試算）

### 圏央道周辺の産業基盤整備の状況



### 圏央道周辺に企業が次々と進出

計画的な産業基盤づくりによる経済波及効果

**初期投資による効果**  
約1,200億円  
**経常的な効果(毎年)**  
年間6,000億円



平成21年3月撮影